

●山梨県美容業生活衛生同業組合

個々の創造性や技術を競う 第26回山梨県美容技術選手権大会を開催



制限時間内で技術を競い合った

山梨県美容業生活衛生同業組合(深澤仁理事長)は7月16日、甲府市の「かいてらす」(山梨県地場産業センター)において第26回山梨県美容技術選手権大会を開催した。

大会には、100名を超える美容師と美容専門学校生が参加し、ワインディング、アップスタイル、カット&ブロー、留袖着付、中振袖着付、洋装ブライダル、ネイルアート、ストリートカット競技など、各自がエントリーした種目に挑んだ。

参加選手はそれぞれのエントリ―競技に出場し、制限時間内でファッション性や芸術性の調和、独自の創造性・感性などと合わせ、日頃から研鑽を重ねてきた技術を競い合った。

この大会は、第40回全日本美容技術選手権大会の山梨県予選を兼ねており、選抜された成績優秀者は、10月16日に愛知県で開催される、全日本美容技術選手権大会への出場権が与えられる。

また、全国美容業生活衛生同業組合連合会が主催する全国大会は、世界大会にも繋がっており、今後、世界を舞台にした活躍にも期待できることから、選手たちにとっては、大きなチャンスの場ともなっている。

美容業界では、日々多様化が進む顧客ニーズへの対応や、最新ファッション、流行に敏感な顧客を満足させる高度で新しい技術の提供が必要とされていることから、創造性と技能を備えた人材の育成が急務になっており、美容師個々の技術向上はもとより、業界として次代を担う人材の養成等を強化している。

組合では、この競技大会を通じて、参加選手の中から将来、業界のリーダーとなり活躍していく人材が育つことに期待を寄せている。

